

編集後記

今冬は、寒気団の影響により冷え込みの厳しい冬となりました。桜の花芽もここ数年のうちでは最も遅い開花となりそうです。令和7年度も残すところあと僅かとなりました。

この小学校長会報も、おかげさまで年を重ね、第61号を発行する運びとなりました。ご多用の中、川崎市教育委員会教育長 落合 隆様より玉稿を賜るとともに、諸先輩方や会員の皆さま方から原稿をお寄せいただきましたことに、深く感謝申し上げます。この会報は、川崎の小学校を牽引されてきた校長先生方の努力と知恵の継承であり、その時々々の教育課題に真摯に向き合ってきた貴重な記録でもあります。

さて、社会が急激に変化する中で、学校教育はどのように変化していくのでしょうか。令和7年9月には、文部科学省の検討部会が「次期学習指導要領」に向けた論点整理を出しました。そこには、時代を越えて変わらない本質（不易）を大切にしつつ、新しい変化（流行）を取り入れていこうとする、「不易と流行」の理念があると感じられます。

次期学習指導要領を貫く「3つの方向性」は次のようなものです。

1 質の高い学び（Excellence）

「主体的・対話的で深い学び」をより進化させ、子供たちが自分なりに答えを導き出すプロセスが重視されます。

2 多様性の包摂（Equity）

「一人一人に合わせる」ことを当たり前にし、個別最適な学びの環境が整えられます。

3 実現可能性の確保（Feasibility）

「学校現場で実際に実行できなければ意味がない」という視点で、働き方改革やデジタル化を推進するという考えです。

校長会といたしましても、今まで取り組んできたことの成果を変わらないもの（不易）として大切にするとともに、2030年に実施予定となっている新学習指導要領についてさらに研究を深め、新しい変化（流行）に対応していかなければならないと考えております。

校長会の活動を記録しているこの会報が、新しい時代の教育の指標となるとともに、退会会員の皆さまと現役会員や新会員との架け橋となることを願いながら、今後も一層充実した編集を目指してまいります。

今後とも皆さまのご指導とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和8年3月

情報研究会議

会 報 61号

印刷 令和8年3月
発行日 令和8年3月
発行 川崎市立小学校長会

印刷所 (有)中溝グラフィック
TEL 044(333)2787